



# 木業通信

## 谷川建設植林体験会レポート

2024年4月に株式会社谷川建設の新入社員さんと植林体験会を実施いたしました。参加されたのは今年入社したばかりの新卒社員さんで総勢19名の参加となりました。

当日は天気にも恵まれ快晴の中、佐賀県伊万里市内の山林で植林体験会を実施することができました。

今回、植林した苗木は「サガンスギ」といって佐賀県独自のエリートツリーです。早期に成長し強度も強く、花粉も少ないといった特徴を持つ苗木です。普及長崎県におられる皆様からは佐賀県独自の苗がある、といったところに驚きを感じておられるようでした。



最初に、弊社森林整備部より苗木の植え方の見本を見せて、その後、二人一組で、実際の植林の体験をしてもらいました。なかなか使い慣れないクワに最

初は戸惑いもあったようですが、徐々に慣れてきて一生懸命に植林を実施していただきました。

作業をしながら、これからどういった山に成長していくのか？自分が定年する頃によりやく木材として利用できるようなことになるなどの質問も出て和気あいあいとした雰囲気



で植林体験会は行われました。

スギの植林は想像しているよりも深く掘ってしっかりと土を固めなければならぬなど興味深く話を聞いていただき合計100本を無事に植え終わることができました。

社員代表の方からも植林体験会を通じて得た経験をこれからの仕事に活かしていきたいという力強い言葉をうけ植林体験会は無事に実施されました。植林を通じ、とても良い交流をする機会ができました。この場を借りてお礼申し上げます。  
(経営理部 Y)

## 営業所紹介 福岡営業所

福岡営業所は2002年9月に福岡県田川郡川崎町に開設されました。北部九州に近いうの木材産地、日田市に近い地であったため日田市内各市場の市況情報の発信基地に仕入れなどに特化し、営業所での原木販売に関しては手選別、手検収からのスタートでした。

その後、添田町の第三セクターであった製材所株ウツプデー内へ2016年1月に移転し営業を行っています。(株ウツプデー)での製材や森林整備事業については人員不足などの諸問題により断念してしまいましたが、製材所で使用していた選木機を活用し伊万里木材市場福岡営業所として原木の選別、販売を執行行っています。主な原木の産地としては地元添田町をはじめ、筑豊

地区、京築地区、北九州地区からの出荷となっております。販売においては近隣の産地である日田市、うきは市の製材所を中心に販売しており、システム販売先として集成材工場、合板工場販売しています。その中でも添田町や京築産の松材については手入れ材(枝打ち材)が多く、良質の材として販売しています。

(福岡営業所 K)



5月号  
Vol.130

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木学会事務局

〒849-0251

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番三〇

TEL 〇九五五-二一八三(代表)

FAX 〇九五五-二一八五五

第二セクターであったこともあり地元との関係性も強く、添田町小中一貫校建設においての木質化事業へも協力しています。2025年開校予定の小中一貫校であり、内装や家具の木質化については地域産材、添田町産材を使用したいというところで添田町、地元森林組合、地元製材所及び福岡営業所が協力し添田町有林の材を取り扱い、現在は、原木の納品まで完了しています。工事については、現状、基礎部分が立ち上がり今年中頃から内装工事に切り掛かるということで完成が楽しみです。

また、福岡営業所ウツプデーの周囲には桜が植えられており、今年には4月上旬に満開となりまして、昨年には添田駅から北部九州最高峰を誇る英彦山の麓を走り日田駅までを結ぶBRTも開業し、営業所近くには勧誘舎という道の駅やフォレストアドベンチャーなどもありますので、近隣にお越しの際には営業所へもお立ち寄りください。

# 木材動向①

## ◎素材

4月に入り春の気配もようやく整い心浮き立つ今日この頃、皆様におかれましてはお変わりなく活躍のごとお慶び申し上げます。

4月の素材取扱量は全社で54,800㎡取扱量となりました。4月は雨の日が多く、山林の方では思うように作業が出来ない状況が続きましたが、出荷者様のご協力のおかげで数量を取り扱わせていただきました。感謝申し上げます。

市況としては、先月まで横ばいであったスギ丸太も下落傾向にあり26日の末市での販売価格は、4m1416cm直 16,500円/㎡、4m144cm小曲 16,000円/㎡、4m822直 15,000円/㎡、4m1822小曲 13,000円/㎡、4m2428直 13,000円/㎡、4m2428小曲 13,000円/㎡と8cm以上は何か横ばいで維持しておりますが14cmの価格が下がってきております。

26日市での販売価格は、4m1618cm直 19,100円/㎡、4m16

18cm小曲 18,420円/㎡、4m2022cm直 18,700円/㎡、4m2022cm小曲 17,450円/㎡という結果となり、5月も引き続きこの状況が続くと思われま。

造材につきましては、スギヒノキともに基本的に4mをおすすめしておりますが、ヒノキ丸太に関しては4m1622cmの価格が今後下落傾向の為4m1622cmの小曲、中曲は3mで直材になるようであれば3m造材に変更されても良いと思えます。それ以外は基本的に4m造材の方が高く販売出来ておりますので引き続きよろしくお願致します。

5月も先行きの不透明感があるなか、虫害等も注視する時期になりましたので、入荷材は早期販売を心掛け、素材部一同、安定販売と安定供給に努めてまいりますので一層のご協力のほどよろしくお願申し上げます。  
(本社素材課 I)

## ◎製品

プレカット工場の稼働率は、住宅需要の落ち込みが原因で、前月に続いて低迷している状況です。工務店や材木店では、新築工事の受注や見積依頼が激減しているなかで、手持ち仕事が少ないため、慌てる様子もなく当用買い続きで、スギヒノキの角類の販売不振が続いており、値段を下げてでもなかなか販売につながらない状況となっております。

公共工事でも予算の関係で規模縮小の傾向がみられ、製材工場の稼働率も落ち込んでおり、製品市場からの受注も低迷、製品で在庫が多くなってきています。製品価格、売れ行きとも厳しい状況は、先月から変わっていない状況となっております。

4月の当市場の相場は、ヒノキGR土台1等上 4m105X105X2000円、m58,000円/㎡(前月比横ばい)、ヒノキGR土台1等上 4m120X120 52,000円/㎡、58,000円/㎡(前月比横ばい)、ヒノキGR土台A 4m105X105 70,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR母屋1等上 40,000円/㎡、43,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD母屋角特 165,000円/㎡、68,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR平角特 14m105X150 180(200厚同) 43,000円/㎡、45,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD平角特 14m105X150 180(200厚同) 65,000円/㎡、70,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR小割(30X45、45X45、45X60)特1プレー 48,000円/㎡、55,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR間柱(30X105、45X105)特1プレー150,000円/㎡、56,000円/㎡(前月比横ばい)、スギ野地板2m12X小幅30,000

円/㎡、33,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD柱30X105 A 40,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD間柱30X105、45X105(68,000円/㎡、73,000円/㎡(前月比横ばい)、スギAD間柱30X105、45X105(63,000円/㎡、65,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD小割30X45 45X45、45X60(68,000円/㎡、75,000円/㎡(前月比横ばい)となっております。

今後においては、円安の影響を受けて輸入材は値上げが予測されており現状の価格と比べ3,000円/㎡、5,000円/㎡の高値の製品が入荷してくるとみられています。しかしながら市況低迷のこの状況で注文が多く入っている様子は見られないようです。

国産材製品においては、以前と比べて荷動き低迷の割には大きな値下がりは見られませんが、スギKD柱などの一部製品においては関東の安値と同じような価格で販売されているケースも場合によっては見られるようになってきました。今後の状況次第では、価格が下がる事も考えられますが、原木出材は減少傾向に有ることから大きな動きは無いと考えます。

**立木買います!**  
0955201150 (製器部 I)

## 南九州 森林整備便り

いまさら聞けない「SDGs」  
森林の循環

すっかり世の中に浸透したSDGsですが、持続可能な開発目標の略で、2015

年に日本を含む国連加盟の国々が合意した約束書「持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。法的拘束力はなく、あくまでも約束事として各国・国民の自主的努力、創意工夫で目標達成を目指すとしており、地球温暖化、大気汚染、海洋汚染、多発化・激甚化する自然災害に関するニュースを目にする機会が増える中で、さらに関心が高まっています。

2030年までの目標としている理由は、少子高齢化の進行によって引き起こされる企業の人材不足、経済成長の鈍化、社会保険費用負担の増加など様々な社会問題です。あと6年、実は私たちに残された時間はあまりないのです。我が国の国土の3分の2を占める森林は、水を育む、気候変動を緩和する、山地災害を防止する等の多面的機能を持っており、この多面的機能の発揮が様々なSDGsに貢献しています。

### 森林の循環を作る取り組み

日本の人工林の多くは、戦後から高度経済成長期にかけて、先人たちが植えたものです。木材が建築物や家具の材料として使えるようになるのは、植え

てから約50年後、先人たちが植えた森林が、令和に入った今まさに、木材としての「旬」を迎えているのです。「木を伐ることは環境に悪いのではない」というイメージを持つ方もいるかも知れませんが、人工林を伐って、その跡地に苗木を植えることで、約50年後には再び木材として利用することができま

す。また木材は、プラスチックや鉄など比べて、環境への負荷が少なく、温か味のある素材です。私たちが木を二重にする言える。「伐る」「運ぶ」「加工する」「使う」というアクションを繰り返していくことにより、環境にも人にもやさしい社会を未来に引き継いでいくことができます。

### 長い年月をかけて木を育て、木材として販売するには手間の掛かる作業も多いのですが、最近では、新しい技術を使うことで、もっと便利で効率的に作業できるようになりました。技術の進歩が林業をどんどん進化させており、弊社でもスマート林業による森林の見ええ化を進め、作業の効率化などに取り組んでおります。

また、私たちの生活と森林に共通する課題と言えは、日本人の約4割が罹患していると言われる「花粉症」が思い浮かぶのではないのでしょうか。花粉症の主な原因となるスギは、日本固有の樹種で、人工林の約4割を占め、ほぼ日本全国に分布しています。このようにスギが多いのは、日本人が古くからスギを

木材として生活の中で活用し、スギの造林方法や利用技術を発展させてきたからです。昔も今も、これからも、スギは私たちの生活に欠かせない大切な資源です。しかしながら、花粉症の原因になっていることも事実です。そこで、花粉の少ないスギの開発普及が進み、全く花粉を飛散させない無花粉スギと呼ばれる品種も出てきています。将来、花粉症のない暮らしを実現できるかも知れません。

さらに、木は捨てることなく、全て有効に活用することができま



す。「木質バイオマス発電」では、環境にやさしい方法で電気を生み出しています。森林整備を通じ自然と人間との共生できる循環型社会を目指し、環境に配慮した適切な森林管理と木材生産と森林資源の有効利用を行い、地域社会に貢献したいと考えております。

（南九州営業所 森林整備部 M）

## Topics 1

新人社員の紹介

紹介が5月に  
なりましたが、  
さる4月1日に入社式が行



われ、今年は一転新しい仲間が加わりました。社会人としての第一歩を踏み出しました。  
皆様からの温かい指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願ひします

岩橋 大冨さん  
（敬徳高等学校 出身）

私は、敬徳高等学校の通信制を卒業しました。  
通信制だったので人とあまりかかわることがなく人との接し方が下手だと思いましたが一生懸命頑張っていたと思います。わからないことがあったら先輩方にお聞きしようと思っていますのでその時はよろしくお願ひします。



※大分営業所で鹿角と一緒に記念撮影しました！

### 楽業明細導入します！

電子帳簿保存法及びインボイス制度等に対応するため「楽業明細システム」を導入することいたしました。仕切書請求書などWEB上で発行しいち早くお届けできるようになります。ぜひご登録ください。詳しくは本社総務部まで（総務部 K）



# 木材動向

## 住宅着工統計

2024年4月30日発表  
3月分/出典:松山山田事務所

◆概況コメント  
3月の新設住宅着工は、貸家持家及び分譲住宅ともに減少したため、全体で前年同月比12.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.4%の減少となった。

### 全国工法別

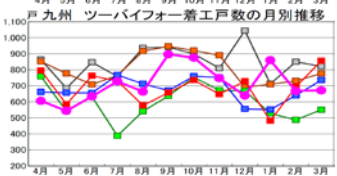
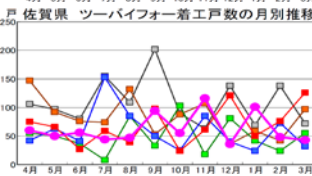
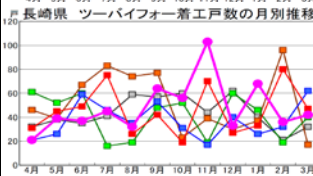
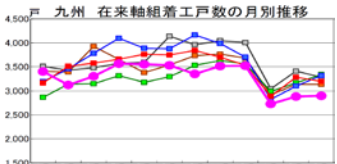
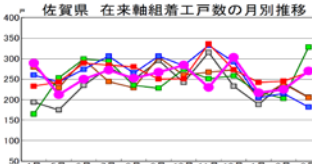
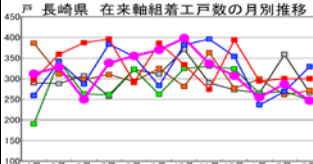
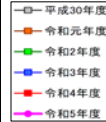
	木造	在来	2×4	木質PFI
戸数	35,606	27,042	7,713	851
前年同月比	-2.5%	-3.5%	0.4%	4.2%

●木質工  
法別に見ると、前年同月比で木造が2.5%の減少、在来軸組が3.5%の減少、ツリーバイフォーが0.4%の増加、プレハブが4.2%の増加となった。

### 全国利用関係別

	利用			分譲		
	合計	持家	買家	全分譲	マンション	戸建
戸数	64,265	16,637	28,204	19,189	8,977	10,113
前年同月比	-12.8%	-4.8%	-13.4%	-16.8%	-21.1%	-12.7%

◆九州地区と佐賀県の在来軸組及び、2×4着工数  
3月の新設住宅着工戸数とその対前年同月比は、九州地区は、5,833戸、29.2%減、佐賀県、3,67戸、10.9%減、長崎県4,09戸、49.0%減と、九州佐賀、長崎ともに減少、傾向となった。



## 編集後記

◎ミス日本みどりの大使って？

総理の一日の中に、「ミス日本みどりの大使表敬訪問」というのを見て、ミス日本みどりの大使「うう、なんだそれと違って検索してみた。いくつか募集されてどんな選考があるのかは一切わからなかったが、(公社)国土緑化推進機構のHPに、「世界有数の森林国である我が国において、古来より営々と培われてきた「木の文化」の現代的な価値や意義を加味しながら緑や木の重要性を広く社会に発信するために、林野庁(公社)国土緑化推進機構が(一社)ミス日本協会と連携して、2015年ミス日本コンテストにおいて「ミス日本みどりの女神」賞を創設しました。2023年からは、

より役割を明確に表すため「みどりの大使」と賞名を変更し、これまで通算10名の女神大使が選定されています。」とあった。ミスコンも最近いろいろ言われているので、女神では触りあがるのだろうか。大使としてきれいなお姉さんが緑や木の重要性を発信してくれるらしい。費用対効果はいかがなものか？そもそも発想がマッチョすぎないか？短絡的すぎないか？と思ってしまった。先日、国連で温室効果ガスの排出量相殺カーボンオフセットや森林破壊フリー認証など、森林保全をめぐる市場主導型の解決策はほとんど効果を発揮していないと指摘する科学的報告書が公開された。幻想に満足してしまっ

# 5月28日(火)

# 優良材特別市

6月の市のお知らせ

6月11日(火) 素材FAX入札

6月28日(金) 特選市